



飛神の柵(御志羅の柵) 木版墨摺彩色 1968年 棟方板画美術館蔵

INORI to TABI
Shiko Munakata

祈りと旅

棟方志功

平成22年

6月12日[土] — 8月15日[日]

休館日 月曜日(ただし、7月19日(祝・月)は開館)
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
観覧料 一般 1,000(800)円 70歳以上の方・学生 800(600)円

※()内は前売りおよび20名以上の団体料金。
18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学する生徒は無料。

- ◎主催:「棟方志功」萩展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、朝日新聞社、yab山口朝日放送)
- ◎後援:萩市
- ◎協力:(財)棟方板画館、(株)安川電機、エフエム山口
- ◎監修:棟方板画美術館



鍵板画柵 大鏡の柵 木版墨摺
1956年 棟方板画美術館蔵



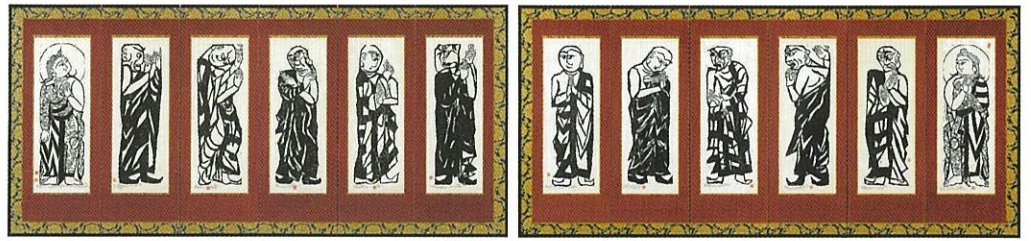
山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1 TEL 0838-24-2400

棟方志功

祈りと旅

Shiko Munakata



二菩薩釈迦十大弟子 木版墨摺 1939年 棟方板画美術館蔵

棟方志功は、日本の価値観が劇的に変容を遂げた大正から昭和の時代を、ひたむきに美を探究して生き抜き、おびたしい数の作品を残しました。彼は古代神話や仏教を主題にし、巡礼が寺に納める札にたとえて、自らの板画を柵と呼びました。棟方の作品には、根源的な大いなる存在への礼賛が通底し、大宇宙から感受した生命のエネルギーが充満しているかのようです。還暦を迎えた昭和38~39年に制作した「東海道棟方板画」をはじめ、晩年には本州、四国、九州を巡礼のごとく行脚し「海道板画」シリーズを残しました。

本展覧会では、「祈りと旅」をテーマに、全長26メートルに及ぶ大作「大世界の柵」をはじめ、板画の代表作を網羅する他、アメリカ旅行でニューヨーク滞在中に制作した作品や、海道の柵シリーズの数々を紹介します。また、彼が倭絵と呼んだ肉筆画や本・雑誌の挿絵、書、陶芸など多様な作品により、身命を板画道に捧げ、たゆまず歩き続けた棟方志功の足跡を辿ります。

記念講演会① (平成22年度第2回美術講座)

「棟方志功・版画家としての出発」

平成22年 6月12日[土] 13:30~15:00

講師: 西山 純子氏 (千葉市美術館 学芸員)

※聴講無料(定員80名、当日受付先着順)

記念講演会② (平成22年度第3回美術講座)

「坂本龍馬と幕末の浮世絵」

平成22年 7月31日[土] 13:30~15:00

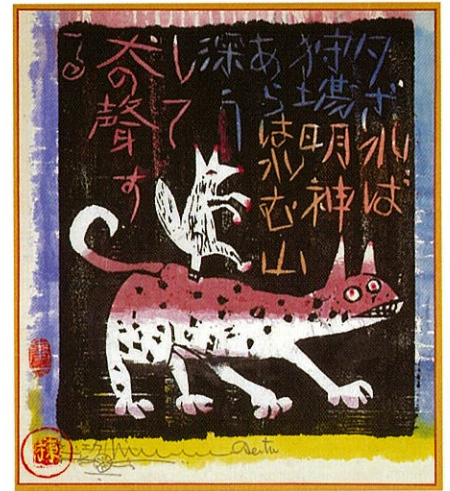
講師: 日野原 健司氏 (太田記念美術館 主幹学芸員)

※聴講無料(定員80名、当日受付先着順)

ギャラリー・ツアー (担当学芸員による作品解説)

毎週日曜日 11:00~12:00

※観覧券が必要です。主催者の都合により取りやめことがあります。



流離抄(歌:吉井勇) 狐狼の柵 木版墨摺彩色 1953年 棟方板画美術館蔵



御八大龍王妃神尊々之図
倭絵(紙本・彩色) 1964年頃 個人蔵



華嚴譜 風神の柵 木版墨摺 1936年 棟方板画美術館蔵



胡須母寿花頌 倭絵(絹本・彩色) 1974年 棟方板画美術館蔵

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

〒758-0074 山口県萩市平安古586-1
URL <http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>



【交通のご案内】

新幹線=[上]博多→小倉→新山口[下]新大阪→広島→新山口
山陽本線=[上]下関→新山口[下]岩国→柳井港→徳山→新山口
バス =新山口駅から、防長交通「特急はぎ号」67分・中国JRバス「特急はぎ号」(湯田温泉・山口駅経由) 83分、ともに萩バスセンター下車、徒歩15分
山陰線=[上]下関→長門市→東萩[下]松江→益田→東萩
東萩駅から、タクシー7分/萩循環まあるバス30分/徒歩30分
航空機 =①羽田→山口宇部(8往復)
山口宇部空港から、萩近鉄タクシー「乗合タクシー」190分
(利用前日まで要予約、電話 0838-22-0924)
②羽田/大阪→萩・石見(直行便各1往復)
萩・石見空港から、直行バス75分(萩バスセンター下車、徒歩15分)
車 =中国自動車道 小部L.C./美祿L.C.各50分